

希学園 第407回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第407回公開テスト 小4国語 解説動画(2026年4月12日実施)	https://vimeo.com/1182318449/ccfc34dc07

1
花見

2
人口

3
世代

4
重荷

5
春めいて

6
社

2

1 A
イ

B
エ

C
ア

2
グリーンカレー

3
どうかした

4
ウ

5
イ

6
ア

7
エ

8
(記述題)

9 I
エ

II
エ

3

1 a
リ

b
か

c
リ

d
三

2
エ

3
主

記号

4
着地

こと

5
脳

リ

6
ウ

7
C

8 X
I

Y
2

Z
I

配点	
1・2 1・3 1	各2点×13=26点
2 8	6点
その他	各4点×17=68点
〈計〉100点	

2

8
やりたくないことも、好きな人をかなしませるくらいなら、思い切ってやっつけてしまえるということ。

(同意可)

1

- 1 文脈から見当をつけて、「花」を「見」ることだと考えたい。単に「花」というだけで、この場合は「桜」のことを指す。
- 2 同音異義語の「人工」として区別すること。「人口」は一定地域の人の数のこと。「人工」は人の手でものをつくること。
- 3 「世代」とは、親世代、子世代などといったふうに、同じ年代の人たちをひとまとめにした呼び方。
- 4 「重荷」という言い方で、自分にとって精神的に大きな負担と感じられることを表現している。
- 5 「春めく」とは、「春らしくなる」といった意味。「……めく」ということばには他にも「色めく」、「ときめく」などがある。
- 6 ふだん使わない訓読みかもしれないが、そうであるからこそ、習ったときにしっかりと覚えておこう。

2

- 1 A：キッチンの方から聞こえてくる音。食器や調理器具などのこすれ合う音を想像しよう。B：「多少味つけがまずくても完食できる」ような状態の「おなか」が立てる音。「空腹は最高のソース」という言葉もある。C：「うっ、くさっ!」、「こんなにおいものを食べろって?」というように食欲が削がれている。気分が悪くなっているのである。
- 2 欠落した情報に注意を払いながら読み進めることができたかどうか。もともと、本文ではこの後、「慎介君」の調理したものが話題の中心になるのだから、決して難しくはないだろう。
- 3 「②」かかって? するよ、あたりまえじゃん」という「莉音」の心の言葉は明らかに「慎介君」の発言を受けてのものである。「するよ」とは「どうかするよ」ということ。
- 4 三行前に「慎介君はこのにおいをどうとも思わないだろうか? もしかして鼻がおかしいとか?」とあった。
- 5 「からし」の色である。色彩表現に関する言葉は豊富で、実際の色見本と照らし合わせてまとめた本も書店で見つけられる。
- 6 登場人物の言動の理由を考える際には、その言動を分割し、それぞれに対応する心情を考えよう。この場合、「これ、へんなにおいがする」という「莉音」の発言を受けて「一瞬の間」が生まれたこと、「くしゃつとわらった」ことの二点について、「慎介君」のそれぞれの時点での心情を考える。「へんなにおい」と言われてびっくりしたが、直後に「独特なおいになるんだよね」、「実はおれも苦手だった」とあることから、「莉音」の言葉に共感もしたのである。
- 7 「かたず」とはつばのこと。「固唾」と書く。ごくりとつばを飲み込んで緊張しつつ、様子をうかがっている。
- 8 線⑤の三行後に「慎介君の頼みだろうと絶対ムリ!」とあるのを読んで、「莉音」の「慎介君」に対する好意的な気持ちの推測できたかどうか。それが恋心によるものであると、ここではつきりする。線⑦の前後の彼女の心境と行動の変化を確認すると、この直後、食べたくもない「グリーンカレー」を「莉音」が思い切って食べた理由が、彼女の「慎介君」への恋心にあるのだとわかるだろう。意中の人を悲しませるわけにはいかないので、「慎介君」が「かなし気」な顔をしているのを見たことをきっかけに、「そんな顔を見ちゃったらあたし」、食べないわけにはいかない、と決意したのである。
- 9 I 線⑧の文は直後の「あの日食べた、グリーンカレーみたいに」とつながっている。「グリーンカレーみたいに」どうなったのか。この時点で選択肢はイ（ほかほかIIあたにかい）かエ（ひりひりIIからい、つらい）に絞り込まれる。ここで述べられているのは、自分が好きだった「慎介君」に、自分以外に好きな人がいたことを知ったときの「莉音」の気持ちである。IIの選択肢でいえば、イとエで説明される気持ちのどちらかが考えられるが、次段落「恋もおしゃれも食べ物も、あたしのぼうけんはこれからだ」という決意と「けれど」という逆接の接続詞で結ばれている以上、ここでは「今回は残念だったけれど、気持ち新たに次の恋を探そう」という文脈を形成せねばならない。今回は失恋の痛手のために心が「ちよびりひりひり」したのであるということ。以上からIIもエが答えになる。ところで、「からい」と「つらい」はともに「辛い」と書き表せ、いずれも「ひりひり」という擬態語で表現できる共通性がここの表現の背景にはある。言葉の面白いところである。

3

- 1 a 「スリム」：ほっそりしていたり、無駄なくひきしまっていたりする様子。b 「なんだかんだ」：いろいろあって、といった意味。c 「ストーリー」：物語、話のすじ。d 「三日坊主」：物事にいきなり長続きしないことや、そういう人のこと。
- 2 あとに「坂道を苦勞しながら歩くぶんだけ、筋肉の能力は高まります」という言い方で、「書く」ことの良さが伝えられている。
- 3 ◎の文に書かれているとおり、「食べていた」という述語に対応する主語が「わたしは」と「友だちが」の二つある。
- 4 おしまいの段階からさかのぼって考えていく、ということをしている部分である。
- 5 「そうやって」とあるのだから、これまでの話題をふまえた表現が「作文を書く目的のひとつ」として挙げられているものと見当がつく。直前の二段落では「自分が相手に何をわかってもらいたいのか」を考えて書く重要性が喩えを交えて述べられており、そのさらに前の段落にある「書く」っていうことは「脳ミソをハッキリさせるため」に行うのだという話題がここではずっと継続しているのである。〈主張の要点〉↓〈具体例や根拠〉↓〈ふたたび主張の要点〉という文章構造は頻出。
- 6 線⑤も前問と同じく、〈主張〉↓〈具体例〉↓〈主張〉という構造のなかにある。前段落の「作文がうまくなるためには、とにかくたくさん量を書くことです」という主張を支えるために、筆者自身の過去の経験を引き合いに出しているのである。本文最後から一つ手前の段落の末尾にも、「とにかく書いた量に満足。これでもうだんぜん書くことに自信がきました」とあり、たくさん書くことの良さがふたたび強調されている。
- 7 問5と問6の内容がそのまま前半と後半の話題となる。つまり、前半は「文章を書く目的」、後半は「作文がうまくなるコツ」の話をしているのである。「いま、何の話をしているのか」という問題意識をもって文章を読むようにしよう。
- 8 X：三段落目に「いままで50冊以上の本を出してきたけど、書くって、つらすぎるな」って思うんですよ」とあった。Y：「筋肉」は比喻表現であり、本当に肉体を鍛えるのではない。Z：「書く」っていうことは「脳ミソをハッキリさせるためでもあるんだ」、「自分の脳ミソをハッキリさせていく(問5の答え)」ことも、作文を書く目的のひとつなんだ」という書きぶりから、それ以外の目的もあるのだ、ということが暗に示されている。

以上